

## ハヤリとシキタリ

あなたは「ハヤリとシキタリ」を読んで、この文章から何を受け取ったか？

この問いは「この文章は何を言いたいのか？」というような問いではない。「この文章は何を言いたいのか？」という問いの答えはたった1つしかないように思われる。しかし、「この文章から何を受け取ったか？」という問いには「受け取る側の自由」がある。文章は言いたいことが伝わらなければ価値がない。究極的によい文章というのは、全ての人に伝達者（作者・著者など）の言いたいことが同じように伝わることだ。しかし現実はそのとはいかない。ある文章が受け取る人によってあまりにも受け取られ方が違う場合は、その文章は下手な文章だということになる。

### 《ハヤリとシキタリは同じ》

- (一) ハヤリとシキタリはアイデンティティーの様ないろいろな共通点が存在する。
- (二) 一般的にちがうと思われていることでも実は共通点が隠されている。
- (三) ハヤリもシキタリも身近な人がやってただまねをしているだけで、なぜ真似ているかはちゃんと説明ができないこと。
- (四) ハヤリもシキタリも、ハヤリであること、シキタリであること、そのこと自体で自分自身を正当化する。
- (五) ハヤリもシキタリも限定された集団内部の現象である。
- (六) ハヤリもシキタリも実利性、合理性で説明できない行動様式を正当化している。
- (七) ハヤリやシキタリは意味がないようなもの。
- (八) シキタリやハヤリも、シキタリであること、ハヤリであること、そのこと自体で自分自身を正当化する。
- (九) ハヤリとシキタリには共通点があり、どちらもなぜそうなのかという合理的な理由を答えることができない。
- (一〇) ハヤリとシキタリ、それは自分自身を正当化する何かである。

### 《ハヤリとシキタリは違う》

- (二) ハヤリとシキタリというのは文化のあり方であり、違うものである。
- (一〇) ハヤリがきてから、それがなじんできてシキタリになってきている。

- (一三) ハヤリとシキタリという言葉は、文化の違い。
- (一四) ハヤリとは短く単純なもので、シキタリは昔から長く現在まで継承されているもので、実利的、合理的に考えるとこれといってあまり意味はないものである。

- (一五) シキタリは歴史があり持続されていて、ハヤリは過去の人と共有されていない文化であることがわかった。
- (一六) シキタリは昔から継承されてきたもので、ハヤリは一時的なもの。
- (一七) シキタリは過去の人間と共有されており、ハヤリは限時代の人々のみに共有されている。
- (一八) シキタリは古い感じがするけど、ハヤリは新しい感じがする。
- (一九) シキタリはずっと続いていくもので、ハヤリはその時だけあるものだ。
- (二〇) シキタリは地味な感じで、ハヤリは派手な感じ。

### 《その他》

- (二一) ハヤリとシキタリは実利性や合理性では説明できない行動様式を正当化するもの。
- (二二) 歴史と時代に見合ったシキタリ。
- (二三) ハヤリとシキタリのもう一つの共通点は、どちらも実利性や合理性では説明のできない行動様式を正当化すること。
- (二四) シキタリは集団独自の歴史や文化であり、これからも持続していかなければならないものである。
- (二五) シキタリは、その国独自の文化が広がったことだと言える。

# 《ハヤリとシキタリはおなじ》

- (26) ハヤリもシキタリも必ずしも実利性や合理的な理由があるわけではないということ。
- (27) ハヤリもシキタリもはつきりと決まっているわけじゃなくてあやふやだ。
- (28) ハヤリとシキタリは似たもの同士である。
- (29) ハヤリもシキタリも、要は「他の人がやっているから、自分もやらなきゃいけない」と同じように感じた。
- (30) 結局はハヤリもシキタリも曖昧な言葉で数ある選択肢の一つであるということなのだ。
- (31) シキタリもハヤリもシキタリでありハヤリであるというわけわからないんだと思った。
- (32) ハヤリやシキタリという言葉を使い、意味のあるかわからない行動に絶対の意味をつけている。
- (33) ハヤリは、若者の一部に指示されたもので、シキタリは、何世代にも渡って継承されてきた行動様式であり、ハヤリとシキタリは似ていないようで似ている。
- (34) ハヤリもシキタリもどちらも文化ということ。
- (35) ハヤリやシキタリは、一部でおこなわれているものだから、他の人からおかしなものであったり、理由の一つで使われるものである。
- (36) ハヤリとシキタリには共通点があり、それは、どちらも普遍性を欠いたもの、どちらも実利性や合理性では説明のできない行動様式を正当化したものである。
- (37) ハヤリとシキタリは、昔から続いていることではなくて、最近のことで歴史的なものではないという。
- (38) ハヤリもシキタリもどちらも同じで、ハヤリとシキタリの違いは、ハヤリがすぐに終わってしまうが、シキタリは何年も続いている。
- (39) ハヤリとシキタリは対照的・対立的だが、どちらも実利性や合理性では説明のできないという共通点がある。

## 《ハヤリとシキタリはちがう》

- (40) ハヤリとシキタリは、似ているようで似ていないということ。
- (41) シキタリは何世代にも渡って継承されたものの。ハヤリはごく短いサイクル。
- (42) シキタリは子孫に伝わり、ハヤリは同世代の人に伝わる。
- (43) シキタリとハヤリは似たような言葉だけど、良く考えてみれば意味も言葉も全く違うことで

自分はシキタリとハヤリが似ているとは思わない。  
(44) ハヤリは若い世代だけだが、シキタリはどんな世代でも使われる。

## 《その他》

- (45) 大流行などは、せいぜい十代後半から二十代前半の男女の一部に指示されている。
- (46) シキタリは、昔から家とか村に伝わっていることであってそれを時間をかけて継承されていること。
- (47) シキタリは長い歴史のものだけではない。
- (48) ハヤリは長く継承されるものではない。
- (49) その国やその集団のシキタリが必ずしも人の国全土や他の集団や地域でも通用するかはわからない。
- (50) シキタリなどハヤリという言葉が多く出てきて昔と現代的なのがわかる。
- (51) 日本人は昔からシキタリなどがかたみがせまかったけど、ハヤリはどうして十代から二十代までしかないんだろう
- (52) 「皆がそうしているから」というだけで自分も周りと同じような行動・服装をするのは、外部から見たらおかしいことである。
- (53) 現実には社会の中でこの行動様式を保持し、継承されているのは、シキタリであること。
- (54) 人は古い文化も新しいものことも合理的に変化させ、次の世代に伝え、持続させたり、次々と新しいものごとを発見し広める能力を持っている。
- (55) 慣習でもシキタリでも、流行でもハヤリでもどっちでも意味は一緒だ。
- (56) 人は古いものにだんだん興味が無くなり新しいことに興味が湧いてくる。
- (57) 大流行などといってもせいぜい十代後半から二十代前半とあったが、自分は、五十代でも八十代の男女でも流行はあると思う。だから流行は若い人だけではない。
- (58) 自分はハヤリにうまいと思っていたが、作者のいうとおりなら、かなりハヤリに乗っている。
- (59) 自分は何かがハヤルとそれに合わせたりするけどシキタリは昔から合わせているので、ようはハヤリやシキタリに合わせるか合わせないかの違いだ。